

図柄ナンバープレート(地方版) 例
(熊本ナンバー・くまモン/飛鳥ナンバー・朱雀)



① 図柄ナンバープレート（ふるさと版）

背景・目的

- ・地域の魅力を発信する「地方版」は78地域で導入され、広く定着。寄付金により地域振興に寄与
- ・一方、当該地域の車両のみを対象に交付されるもので、全国ユーザーが自由に選択できない
→ **応援したい地域の図柄を自由に選択できる「ふるさと版」を創設**し、地域振興を更に促進

基本方針

- ・シンプルかつ持続可能な制度設計
- ・**小規模・試行的に制度導入**し、運用上の課題・効果を検証の上、本格導入を目指す
- ・既存の制度・システムを可能な限り活用し、**早期に制度開始**

対応の方向性

- (1) 交付対象地域 地域を限定せず、**全国で交付**
- (2) 交付対象図柄 **2-3種類程度から開始**し、段階的に全種類まで拡大。図柄は**交付実績や国民アンケートにより今後選定**
- (3) 費用負担 現行と同様、ユーザーが交付手数料により負担。寄付先は交付対象図柄の地域。寄付の最低額は今後決定
- (4) 対象標板 **自家用の中板**（乗用車など）。事業用は新たな制度的受け皿を今後検討
- (5) 交付代行者 交付を受けるユーザーの地域の代行者が交付
- (6) 申込～交付の期間 製造者の負担を考慮し、現行の期間（10営業日）よりも延長。合理的な期間を今後検討
- (7) 開始時期 遅くとも**令和11年度までの試行導入**を目指す

② 人気がある希望番号を取得しやすくする方策

背景・目的

- ・ナンバープレートの好きな番号を選べる「希望ナンバー制」において、人気の番号は**無料の抽選制**。最大で30倍の抽選倍率も
- ・人気の著しく高い番号の抽選倍率を下げることで、番号を選択したいというユーザーのニーズに応えることが必要

基本方針

- ・ユーザーへの情報提供、経済的手法の試行導入など、**ユーザーの行動変容を促す方策**を可能なものから**速やかに実施**
- ・制度の見直しや大規模なシステム改修等を必要とする方策は、長期的な課題として引き続き検討

対応の方向性

短期的な取組	中期的な取組	長期的な取組
・抽選倍率等のユーザーへの情報提供の充実 ・抽選対象番号の見直し（倍率1倍以下の番号の除外等） → 早急に実施（システム改修を要するものは令和9年度を目指す）	・抽選対価を求める仕組みの試行的な導入を検討 (1) 收受方法 寄付金による (2) 收受時期 当選時に支払 (3) 対象番号 著しく高い倍率となっている番号と地域に限定 (4) 金額 定額とし、倍率低減効果を踏まえ決定 → 令和8年度中に試行に向けた制度設計	・当選個数の増加の前提となる、番号の再利用を含む抜本的な番号払底対策を検討